

第3回 千代田区一般廃棄物減量等推進審議会

検討テーマ：ごみの発生抑制

一般廃棄物減量等推進審議
会令和6年3月19日

委員	検討事項	内容	検討資料等
井出委員	千代田区のごみの排出量について	<p>東京都内の（あるいは23区内の）市区町村別、一人一日あたりのごみ排出量の順位 環境省が毎年3月末に全国ごみが少ないトップ10の自治体を発表しています（p22）。 https //www.env.go.jp/content/000123409.pdf</p> <p>千代田区が、東京都の中でどの程度の位置付けにあるのか知りたいです。全国の講演に行くと、その都道府県の市区町村のごみ排出量ランキングの資料をいただくことがあります（たとえば群馬県や福島県など）。できれば千代田区がどのような位置にあるのか把握したいですが、難しければご放念ください。</p>	<p>資料 井出1 区毎の1人1回あたり 排出量の経年変化 資料 井出2 リデュース・リサイクル 上位10市町村</p>
	京都市の事業系ごみ削減の事例	<p>千代田区では事業系ごみが9割を占めるとのこと。 京都市の廃棄物削減については2016年ごろから取材を続けていますが、 廃棄物全体を減らす上で最後までネックとなったのが事業系の廃棄物、特に食品ロスで した。京都市がどのようにして2000年から2019年までの20年間で82万トンあった 廃棄物を41万トンまで削減したか、特に事業系でどのような工夫をしたかの資料がある と、千代田区の事業系ごみ削減にも役立つのではないのでしょうか。（以下のようなサイ トから一部引用するなどして使ってはどうでしょう）</p> <p>京都市 食品ロスゼロプロジェクト（事業者の皆様へ） http //sukkiri-kyoto.com/jigyo</p> <p>京都市ごごみネット https //kyoto-kogomi.net/</p> <p>京都市 事業者のみなさまへ ハンドブック https //www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/cmsfiles/contents/0000093/93257/29guide book.pdf</p> <p>都内の自治体のほうが身近で参考になるかなと思いましたが、先日、杉並区の実例を紹 介したところ、「杉並区は住宅地」という発言がありましたので、事業系ごみと格闘し た自治体の事例の方が参考になるかと思いました。</p>	<p>資料 井出3 京都市 食品ロスゼロ プロジェクト 資料 井出4 京都市ごごみネット 資料 井出5 京都市 事業者のみな さまへ 廃棄物ガイドブック</p>

第3回 千代田区一般廃棄物減量等推進審議会

検討テーマ：ごみの発生抑制

一般廃棄物減量等推進審議会
令和6年3月19日

委員	検討事項	内容	検討資料等
梅原委員	リサイクルの現状について	次回の会議にてもし可能でしたら、千代田区内の衣料ゴミ発生量・処理量（推計で結構です）と、回収ステーションでの回収量（実績が分かれば）をお示しいただけますでしょうか。衣料品廃棄の発生とリサイクルの現状のギャップ感を把握することで、今後の検討に活かせればと思いました。	資料 梅原1 古布5年分推移
	紙ごみの再生利用率	事業系の紙ごみの再生利用率は、千代田区は標準的な水準なのか知りたい。もし低いのであれば、再生利用計画書を提出している2,000社の事業所は通常環境マネジメントシステムを導入しており、紙ごみ減は取り組んでいると思うので、その辺りの状況をアンケート等で把握しているのか。	資料 梅原2 事業用大規模建築物再生利用率
崎田委員	家庭ごみ有料化		資料 崎田1 ごみ有料化について
	食品ロス削減と食品廃棄物の資源化		
藤井委員	事業者のごみ分別について	以前事業ごみの収集作業を体験しましたが、段ボールを可燃ごみとして収集せざるを得ない現状を見ました。 https://toyokeizai.net/articles/-/635058?page=2 https://toyokeizai.net/articles/-/635058?page=3 小口に排出される段ボールを区側で収集する可能性は、ありませんでしょうか。どうしても人材と機材が必要になりますが、もし実現するなら、どれぐらいのコストで実現できるのかを検討してみたいかがでしょうか。	資料 藤井1 事業者のごみ分別について

第3回 千代田区一般廃棄物減量等推進審議会

検討テーマ：ごみの発生抑制

一般廃棄物減量等推進審議会
令和6年3月19日

委員	検討事項	内容	検討資料等
	食品ロスへの対応について	ホテルや飲食店からの食品ロスにつきましては、持ち帰りを積極的に推進したり、余った食材を利用して新たな商品を開発する形が考えられますが、そのような企業努力をされている企業の具体的事例をご紹介頂き、千代田区のスタンダードとしてモデル化していくような取り組みを検討するのはいかがでしょうか。	

第3回 千代田区一般廃棄物減量等推進審議会

検討テーマ：ごみの発生抑制

一般廃棄物減量等推進審議会
令和6年3月19日

委員	検討事項	内容	検討資料等
松田委員	食品ロスへの対応について	<p>次期基本計画で課題とする「ごみの発生抑制」について、農水省が主体となって進めている「食品廃棄物等の発生抑制に向けた取組の情報連絡会」（第1回：令和5年10月31日開催）の資料を参考資料として検討することを提案致します。</p> <p>食品ロス削減に向けた基本的な考え方と取組（一部抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食品リサイクル法の基本方針では、食品廃棄物等の発生抑制（フードバンクへの寄附等を含む）が最優先 ○食品廃棄物の発生抑制、食品ロス削減に向けては、商慣習の見直しなど、消費者を含むフードチェーン全体での取組が重要。 <p>発生抑制に対する主な取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆商慣習の見直し <ul style="list-style-type: none"> －納品期限の緩和 －賞味期限の延長 －賞味期限の年月表示化 ◆需要に見合った製造・販売等 <ul style="list-style-type: none"> －小容量化等 －販売方法等の工夫（値引き、予約販売、受注生産、端材の有効活用等） －需要予測の高度化 ◆フードバンク等との連携 <ul style="list-style-type: none"> －フードバンク等への寄付、フードシェアリングの活用等 －食品ロス削減等の取組の促進 （寄附に係る税制の活用、食品廃棄量・フードバンクへの寄附量の開示等） ◆「食べきり」「持ち帰り」の促進等 <ul style="list-style-type: none"> －てまえどり、食べきり、持ち帰りの実践 <p>参考資料：農水省：食品廃棄物等の発生抑制に向けた取組の情報連絡会（第1回：令和5年10月31日開催）の資料</p>	資料 松田1 食品廃棄物情報連絡会